

ギター文化館発

「常世の国の恋物語百」

ふる里とは、物語の降る里です。ふる里に降り落ちた物語は未来への道標。守るべきは里に降り落ちた物語を確りと伝えることです。

ことば座は、里に降り落ちた物語を朗読と手話を基軸とした舞・朗読舞に表現し、明日の夢を伝える劇団です。

2011年「ことば座」定期公演

第20回公演「常世の国の恋物語百:第27話」 6月17日～19日

第21回公演「常世の国の恋物語百:第28話」 11月11日～13日

ギター文化館協賛:ことば座新企画「里山と風の声」

《野口喜広のオカリナと白井啓治の詩の朗読コンサート》

第1回コンサート3月6日 第2回コンサート9月11日

夏の世の篝火舞(予定)8月28日

夏の夜空の下、篝火を焚きその灯りに照らされての朗読舞観賞会。

ことば座 315-0013 茨城県石岡市府中5-1-35 ☎0299-24-2063 Fax0299-23-0150

2011年2月6日(日曜日)美浦村:陸平遺跡・文化財センター

陸平遺跡:縄文の森に小林幸枝が舞う

縄文の森コンサート(朗読舞&野口喜広オカリナ・コンサート)

「ことば座朗読舞公演」

朗読舞「ふるさとの風に吹かれて」(オカリナの風の声に乗って常世の国の心を舞う)

朗読舞劇「縄文の舞い」(朗読舞の小林幸枝がモダンバレエの柏木久美子と初共演)

※矢野恵子のパーカッションのリズムによって小林幸枝と柏木久美子が舞いの言葉を交わす。

世界初の舞のコラボレーションが実現。

野口喜広オカリナ・コンサート

主催:陸平をヨイショする会(お問い合わせ:美浦村文化財センター029-886-0291)